?? 手品の魅力 !!

笠間市市長公室統計係
高木正美

皆さんは手品(マジック)に興味がありますか？ハンカチから鳩を出したり，トランプの数やマークを見ないであてたりする，あの手品です。

私が手品に興味をもつようになったのは学生時代で，二つ下の弟が大学で手品クラブに入り，その発表会を見に行ったときからです。招待状が送られてきたので，どうせ学生の暇つぶし程度のものだろうが，弟も出演するということから，しぶしぶ出かけて行きました。会場は皇居近くの地下のこぢんまりしたホールで，すでに８割程埋まった客席のほとんどは出演者の身内や友人でした。間もなくマジックショーが始まりましたが，予想もしていなかった迫力に私はびっくりしてしまいました。各大学合同による催しということで，次々にステージに登場する出演者は，黒のタキシードに身を包み，美人の助手(学生)を従えて，まるでプロの手品師みたいに堂々とすばらしい演技を披露しているではありませんか。やがて弟の出番がきて，ベンチャーズの曲をバックに演技が始まりました。プログラムを見ると題は「ミステリアス・コイン」。空中にほうり投げられた何枚かの金色のコインは地上に落下せず，一瞬のうちに消えてしまい全く別の所に置かれた箱から現れるというもので，失敗しなければよいがとハラハラした気持ちで見ていました。幸い無事に終わり，スポットライトに映し出された弟の顔を見てホッとするとともに，私はいつの間にかこの〝華麗なるミステリーの世界〟にすっかり魅了されてしまったのです。

その後は，発表会やプロのマジックショーを見に行ったり，テレビでその番組があるときは欠かさず見ましたが，その頃はまだ自分でやってみようという気にはなりませんでした。

自分で実際に手品を始めてみることになったきっかけは，市役所に就職後，職場，友人，同窓会などの宴会のたびに，仲間が歌や物まねなどを上手に披露しているので，歌の下手な私は何か一つ余興を考えなくてはなるまいと思い立ったことからです。そこで興味をもっていた手品の練習を早速始めたのです。

さて，手品には当然「タネ」があります。まずこのタネのある道具を手に入れなければなりません。そこで弟に教えてもらった初歩的なものをデパートのおもちゃ売場で二つほど見つけてきました。その一つは「ダイニングペーパー」で，黒い紙を広げて表と裏を見せ，まるめて筒にし，片方から黄色いハンカチを入れて息を吹き込むともう一方から赤いハンカチが飛び出す手品。もう一つは「シンブル」で，指先にキャップをはめて片方の手でそこをなでるとそのキャップが消えて全く別のところから現れるという手品。この二つを忘年会の席で披露したところ，好評を得たので気をよくし，さらに「色の変わるハンカチ」，「マジックトランプ」，「三本ロープ」，「チャイナリング」など種類を増やし，売り場に置いてないものはパンフレットで取り寄せたりして，現在約30種類の手品を１回につき７種類程とりまぜて時々披露しています。

とにかく自分も相手も酔っ払っている場合がほとんどなので失敗しても気にしないで済むし，人前でやるのも楽しいものです。皆さんも手品を始めてみてはいかがですか。

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は，昭和60年８月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室　本庁舎地下１階　TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係	
昭和60年版 公務員白書	人事院
住民基本台帳人口移動報告年報(昭和59年)	総務庁
昭和59年10月１日現在 推計人口	〃
統計に用いる標準地域コード(昭和60年５月１日現在)	〃
日本標準建築物用途分類 分類項目名及び説明 59年３月改訂	〃
昭和60年 日本の統計	〃
昭和59年 全国消費実態調査 主要耐久消費財・貯蓄結果速報	〃
日本の人口 昭和55年国勢調査最終報告書(資料編)	〃
昭和60年版 警察白書	警察庁
昭和60年版 防衛白書	防衛庁
季刊 国民経済計算 No. 66	経済企画庁
消費動向調査 －60年6月実施調査結果－	〃
法人企業動向調査報告 －昭和60年6月実施－	〃
首都改造計画 －多核型連合都市圏の構築に向けて－	国土庁
昭和60年版 わが外交の近況 －外交青書－	外務省
貿易概況 60年上半期	大蔵省
昭和60年度 学校基本調査速報	文部省
昭和59年 衛生行政業務報告(厚生省報告例)	厚生省
昭和60年度 農業観測	農林水産省
昭和59年度 関東の野菜	〃
水産統計指標 特集号 累年統計(35年～56年)	水産庁
昭和59年 資源統計年報	通商産業省
昭和59年 エネルギー生産・需給統計年報(石油・石炭)	〃
昭和58年 工業統計表(用地用水編・工業地区編)	〃
職業安定行政組織・職業訓練行政組織及び施設一覧	労働省
昭和59年度 公共工事着工統計年度報	建設省
昭和58年度 建設工事施工統計調査報告	〃
昭和60年版 建設白書	〃
茨城県関係	
茨城県の災害 －昭和59年－	消防防災課
茨城公論 －明日への展望－	企画調整課
常陸川水門操作に伴う水象水質調査報告書	水土地対策課
昭和60年7月1日現在茨城県の人口(年齢別)	統計課
昭和59年 茨城県鉱工業指数(昭和55年基準)	〃
茨城県社会生活統計指標(地域別・市町村別)	〃
昭和59年 工業統計調査結果速報	〃

行政資料名	発行所(者)
地域福祉活動事例集	社会福祉課
昭和59年度 婦人保護事業の概要	婦人相談所
昭和59年度 業務概要	若葉寮 中央児童相談所 土浦〃 下館〃
青少年の生活に関する地域住民の意識	総合県民室
茨城県農業協同組合の現況(基礎資料編)	農業経済課
茨城県青果物標準出荷規格	流通園芸課
1984 教育要覧	教育庁企画室
昭和60年度版 茨城教育便覧	〃
県内市町村関係	
昭和59年版 年報	水戸市公設地方卸売市場
統計つちうら '84 7～12月	土浦市
昭和57年度 市民所得	〃
昭和59年版 統計いしおか	石岡市
昭和60年版 北茨城市統計書	北茨城市
住居表示新旧・旧新対照表	鹿島町
昭和59年版 統計もりや	守谷町
守谷 '85守谷町勢要覧(町村合併30周年記念号)	〃
都道府県関係	
昭和59年 工業統計調査結果速報	秋田県情報統計課
昭和59年 山形県の賃金・労働時間及び雇用の動き	山形県統計調査課
福島県景気動向指数	福島県統計調査課
昭和60年版 統計からみたわたしたちの郷土	栃木県統計課
昭和58年度 埼玉県法人企業統計調査報告書	埼玉県統計課
昭和59年 工業統計調査結果速報	千葉県統計課
昭和59年 神奈川県消費者物価指数	神奈川県統計課
昭和59年度 統計からみた神奈川県経済の動向	〃
昭和60年度 学校基本調査速報	山梨県統計調査課
昭和60年度 統計からみた岐阜県のすがた	岐阜県統計課
昭和59年 工業統計調査結果速報	静岡県統計課
昭和60年度 学校基本調査結果速報	愛知県統計課
昭和57年度 愛知の県民経済計算	〃
滋賀県市町村別社会生活関連指標	滋賀県情報統計課
昭和58年度 京都府民所得	京都府統計課
昭和57年 商業統計地域メッシュ報告書	大阪府統計課
昭和59年 毎月勤労統計調査	奈良県調査課
昭和59年 福岡県鉱工業指数(昭和55年基準指数)	福岡県調査統計課
公社・会社・団体等関係	
首都改造計画	(社)首都圏整備協会
昭和60年度版 中小企業施策のあらまし	(財)中小企業調査協会
昭和59年度 放送受信契約数統計要覧	日本放送協会

経済動向

国内の動き

●輸出産業高い伸び（59年度法人企業統計）

大蔵省が発表した59年度の法人企業統計調査によると，全産業（金融・保険業を除く）の経常利益は前年度に比べ21.8%増となった。54年度（36.0%増）以来５年ぶりの高い伸び。製造業で電機，自動車などの輸出産業が高い伸びを示したほか，非製造業では運輸・通信業が71.9%増となった。また，企業の自己資本比率は全産業で0.3%上昇し16.9%となった。51年度の13.7%を底に８年連続して上昇している。この調査は59年度の１年間に決算期末を迎えた金融・保険業を除く営利法人181万9109社を対象に２万1694社を標本調査した。回答率は89.4%。59年度の全産業の売上高は991兆182億円。このうち製造業は3.7%増の309兆6180億円，非製造業は9.5%増の681兆4001億円となっている。一方経常利益は全産業で20兆6175億円。このうち製造業は27.2%増の11兆104億円であった。（日経 ８月30日付）

●経済のサービス化が物価上昇要因に（物価リポート'85）

ＩＣの急速な値下がりなどここ数年来の技術革新の動きは物価の安定に役立つ一方，経済のソフト化・サービス化の進展は物価を上昇させる要因になる懸念がある―。経済企画庁は「物価リポート'85」のなかで，産業の新しい動きと物価の関係を分析した。サービス分野では労働生産性がなかなか上がらず，賃金上昇が価格に反映されやすいなどのためで，59年度の消費者物価上昇率（2.2%）のうち0.6%はサービス価格の上昇による，と試算している。このリポートは企画庁が，第１次石油危機後の狂乱物価を経験した50年から毎年１回発表している。いわば「物価白書」で，今度が11回目である。（日経 ９月４日付）

県内の動き

■経　済

●輸入額小幅の伸び（鹿島港貿易）

鹿島税関支署はこのほど，60年上半期の鹿島港貿易概況をまとめた。それによると，貿易額は輸出額が前年同期比2.1%減の825億3800万円でやや不振，輸入額は小幅ながら伸びを示し，同3.6%増の3246億4000万円となった。輸出部門が伸び悩んだ原因は，輸出額の81.5%を占める同港の主力製品である鉄鋼がわずかに減り，鉄鋼製構造物も振るわなかったため。化学工業生産品は着実に増えている。一方，輸入部門は石炭，鉄鉱石，穀物などが減少。重油，液化石油ガスも不振だったが，輸入額の44.1%を占める原油，粗油が増加し，わずかに伸びた。この結果，輸出入バランスは2421億200万円の入超となった。
（いはらき ８月19日付）

■産　業

●企業立地はほぼ昨年並み

茨城県企業立地推進本部は60年上半期（１－６月）の工場新増設状況をまとめた。それによると，企業総数は52社，面積は63.9ヘクタールで，ほぼ昨年並み。化学，金属，電気機械関連企業の進出が目立っている。内陸部への立地が49社とほとんどを占めている。同本部は「下半期は筑波の西部（科学万博会場跡地），北部両工業団地への進出契約があるため，企業数が急増する」と見ている。
（日経 ８月23日付）

■そ の 他

●通行量，前年の２倍（常磐道利用状況）

日本道路公団はこのほど59年度の高速道路の通行台数，料金収入など利用状況をまとめた。それによると，常磐自動車道の通行台数は1265万3000台で前年度比667万5000台，211%。１日平均３万4666台。料金収入は124億6300万円で前年度比76億2700万円，257%。１日平均3414万5000円となっている。通行台数，料金収入とも58年度の２倍を超したが，これは年度末に三郷―柏間10.8キロ（１月），那珂―日立南太田間11.5キロ（２月）が開通したためで，とくに三郷―柏間が開通したことにより常磐道が首都高速６号線と直結したことが大きい。（常陽 ９月１日付）